

# 第4学年 国語科学習指導案

日 時 令和〇年〇月〇日( )第〇校時

場 所 〇〇〇立〇〇小学校

4年〇組 児童数〇〇名

指導者 〇〇 〇〇〇

## 1 単元名「くらしの和と洋ブックを作って、友達に和と洋のちがいをしょうかいしよう」

(東京書籍「新しい国語 四下」『くらしの中の和と洋』)

## 2 単元の目標

・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うことができる。 [知識及び技能] (2)イ

・目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができる。

[思考力、判断力、表現力等] C 読むこと(1)ウ

・文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。

[思考力、判断力、表現力等] C 読むこと(1)カ

・言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。

「学びに向かう力、人間性等」

## 3 本単元で取り上げる言語活動

くらしの中の和と洋の違いについて、事典や図鑑などを読んで分かったことをまとめ、友達に紹介する。

## 4 指導について

### (1) 児童について(省略)

### (2) 教材について

本教材では、くらしの基本となる「衣食住」の中の「住」を取り上げ、日本のくらしの中で「和」と「洋」のよさがどのように取り入れられているかを読み取り、比較の仕方を意識して、調べたことをまとめる力を付けることをねらいとしている。これまでに児童たちは、「ヤドカリとインゲンチャク」の学習を通して、ヤドカリとインゲンチャクの関係について、説明のまとまりに着目しながら読み取ったことを図や表で表すことができた。そして、筆者の考えとそれを支える理由や事例との関係について、叙述を基に考えることができた。この学習を通して、段落相互の関係に着目しながら、文章の内容や構造を把握しながら自分で意欲的に文章を読もうとする児童が多く見られるようになった。

本教材の学習では、これまでの学習で捉えた文章の構造や内容を基に、必要な情報を見付けて要約する力を身に付けさせる。日本のくらしの中で、どのように「和」と「洋」が比べられているかを読み取るために、中心となる語や文を見付けて、文章の内容を短くまとめる力を付けることが大切である。要約する力を付けるために、それぞれのよさを比べてどのような事例が挙げられているかを確認して図に示したり、段落相互の関係に着目しながら、文章をまとめたりする学習を行う。このような学習を通して、文章を要約する目的を意識し、内容の中心となる語や文を選んで自分で要約する力を身に付けることができると考える。

### (3) 指導について

本教材の内容を読み取るために、段落ごとの内容を確認し、文章の内容構成を図に示す。内容構成図から、和室と洋室に着目して「和」と「洋」のよさを比べていることに気付かせ、観点に沿って取り上げられている事例を表に整理させた後、学習したことを基に、「くらしの和と洋ブックの紹介文①」にまとめさせる。学習を始める前に、学校図書館や地

域の図書館から、「衣食住」に関する和と洋の違いについての本や図鑑を集めて、教室に並べて、児童が自由に読むことができる環境をつくる。そして、本教材の学習を始めるとすぐに読書の時間を利用して「衣食住」の「和」と「洋」の違いを調べる本を読ませていく。本教材の学習を進めながら、本を読んで分かったことや友達に紹介したいレベルを星の数で示す「くらしの和と洋紹介リスト」にメモを書いて溜めておき、友達に紹介する題材を自分で見付けさせる。それから、本教材で学習したことを基にして、紹介文の題材を選び、自分で「くらしの和と洋ブックの紹介文②」にまとめる。最後に、「くらしの中の和と洋ブック」を友達と読み合い、比べている観点や取り上げた事例に着目して感想を伝え合う。

## 5 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①比較や分類の仕方を理解し、情報を伝えるために必要な語句を適切に捉え、書き留めている。 (2)イ	①「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。(C(1)ウ) ②「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。(C(1)カ)	①学習の見通しをもって、積極的に学習課題に取り組み、文章を要約したり紹介文を書こうとしたりしている。

## 6 指導計画と評価計画(全10時間)

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準、評価方法等
1	○「くらしの中の和と洋」を読み、学習の見通しをもつ。	・「くらしの和と洋ブック」を作って、友達に「和」と「洋」の違いを紹介することを知らせる。	[態①]ノート ・文章を読んで、分かったことや考えたことを積極的に書き、「くらしの和と洋ブック」を作ることに興味をもって取り組もうとしている。
2	○段落ごとの内容をたしかめる。	・段落ごとの内容を50字以内でまとめさせる。 ・接続詞や文末表現に着目させながら、段落を「はじめ」「中」「おわり」のまとまりに分けさせる。	[思・判・表①]ノート ・中心となる語や文に印をつけたり、「まず」「次に」「このように」といった言葉に着して、文章のまとまりを捉えたりしている。
3	○和室と洋室の違いを文章構成図①にまとめる。	・和室と洋室の最も大きな違いについて、二つの観点で説明されていることを理解させ、和室と洋室のよさの違いについて、表にまとめさせる。	[知・技①]ワークシート ・それぞれの観点に沿って、和室と洋室のよさについての情報を比較したり、分類したりして必要な情報を整理してまとめている。
4 5	○和室と洋室の違いについて、「くらしの和と洋ブックの紹介文①」にまとめる。	・「はじめ」「中①」「中②」「おわり」の文章全体の構成と、文章構成図がどのように関係しているのかを理解させながら、紹介文を書かせる。	[思・判・表①]ワークシート ・内容の中心となる語や文を選び、要約の分量などを考えて紹介文にまとめようとしている。

6	○「くらしの和と洋ブックのしょうかい文②」で紹介したい和と洋の違いを文章こうせい図②にまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和と洋で比べたときの最も大きな違いと、二つの観点についての説明を詳しく書かせる。</li> <li>・教科書23ページ「引用の仕方」を学習し、必要に応じて、本や資料の内容を引用してもよいことを伝える。</li> <li>・書き終わった後、自分で書いた文章構成図を見直し、内容の中心となる語や文を選んでいるか確かめさせる。</li> </ul>	<p>[知・技①]ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本や資料を読んで友達に紹介するために必要な情報を見つけて詳しく表にまとめている。</li> </ul>
7 8 (本時) 9	○和と洋の違いについて、「くらしの和と洋ブックのしょうかい文②」にまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書23ページ「引用の仕方」で学習したことを確かめ、引用をしたときの文章の書き方に気をつけさせる。</li> <li>・「はじめ」「中①」「中②」「おわり」の内容と文章構成図の関係を確かめながらまとめさせる。</li> </ul>	<p>[思・判・表①]ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達に和と洋の違いを紹介するという目的を意識して、文章の表現を生かしたり自分の言葉を用いたりしながら文章の内容をまとめている。</li> </ul>
10	○「くらしの和と洋ブック」のしょうかい文を友達と読み合っ感想を伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の紹介文を読んで、和と洋のどのようなことをどのような視点で比んでいるのかを伝え合う。</li> <li>・文章を読んで、着目した文章を取り上げ、友達の文章のいいところを詳しく伝えさせる。</li> <li>・観点を決めて、和と洋の違いを詳しくまとめることができたかなどについて振り返りをさせる。</li> </ul>	<p>[思・判・表②]ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達が書いた文章の内容を理解し、文章を読んで感じたことや考えたことを友達に伝えている。</li> </ul>

7 本時の学習 第8時／全10時間

(1) 本時の目標

友達に和と洋の違いを紹介するという目的を意識して、文章の表現を生かしたり自分の言葉を用いたりしながら文章の内容をまとめることができる。

(2) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等 ○Bと判断できる状況 ●Cと判断する状況の手立て
○本時のめあてを確かめる。	・文章構成図②観点1の内容を確かめさせ、学習のめあてを理解させる。	
調べて整理したことをもとにして、しょうかい文にまとめよう。		

<p>○「くらしの和と洋ブックのしょうかい文②」の「中①」を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科書23ページ「引用の仕方」の中で、大切なポイントを声に出して読ませ、自分の文章に引用するときのきまりを確認させる。</li> <li>・ 主語と述語の関係を確かめたり、「まず」「それに対して」などの言葉を使ったりしながら、紹介したいことを詳しく書かせる。</li> <li>・ 書き終わったら、中①と文章構成図②の観点1の内容を結び付けて書くことができているかを確認させる。</li> </ul>	<p>〔思・判・表①〕ワークシート</p> <p>○文章構成図②の観点1を見ながら自分で選んだ内容の中心となる語や文を使いながら、内容をまとめようとしている。</p> <p>●「くらしの中の和と洋ブックのしょうかい文①」の「中①」を見て、言葉の使い方や文章のまとめ方を確かめて文章を書くように声をかけたり、文章の例を示したりする。</p>
<p>○書いた文章を友達と読み合い、「くらしの和と洋ブックのしょうかい文②」の「中①」を完成させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ お互いにどんな観点で書いているかを確認させる。</li> <li>・ 友達からもらったアドバイスを基に、内容を短くまとめたり、自分の言葉を用いて書き加えたりしながら完成させる。</li> </ul>	
<p>○学習の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調べたことをまとめるときに大切だと思ったことについて話し合わせる。</li> </ul>	